

12/14 家庭教育支援講座



市民文化センターで「おなかの健康と乳酸菌とのかかわり」がテーマの講座が行われ、親子5組が参加。講師は株式会社ヤクルト北北海道の小野寺恵栄養士が務め、レアチーズ作りに挑戦。

親子で触れ合いながら楽しくおなかの健康を学ぶことが目的。

12/9 男女共同参画セミナー



「男女共同参画の視点を踏まえた人の尊厳を護る避難所の開設と運営」がテーマの講演会。講師は日本赤十字北海道看護大学教授で災害対策教育センター長の根本昌宏さんが務めました。

駅前交流プラザ「よろー」にて行われ、約60人が参加しました。

12/16 児童センター クリスマス会



児童30人が参加。さいころゲームやおおきなパズルなどのアトラクションなどを楽しんだあと、サンタクロースに扮する職員がゲームを通してお菓子や文具などをプレゼントしました。

プレゼントをもらった児童たちは大きな声でお礼を述べました。

12/16 名寄ピヤシリジャンプ大会



ピヤシリジャンツェで行われ、女子36人、男子96人が参加しました。本市からは菊池楼紗選手（名寄中学校）、安澤翔一選手（名寄ジャンプクラブ）が冬空を舞いました。

本大会は今シーズン国内最初の冬季ジャンプ大会です。

12/22 西保育所 クリスマス会



所児による手品や遊戯の後、サンタクロースとトナカイに扮する職員からお菓子などのプレゼント。また市内在住の「バスケおじさん」からバスケットゴールとボールが送られました。

「バスケおじさん」は本園の他、9つの児童施設にもプレゼント。

12/17 スノーシューで雪山を探検しよう



なよろ温泉サンピラー周辺の山を散策するスノートレッキング体験に市民27人が参加。木に積もった雪が落ちたり、つまずくなどのハプニングもありつつ、とても満足そうな表情で体験。

ガイドはなよろ観光ボランティアの会の鈴木邦輝さん。



ホームページのほかにも市公式フェイスブックや市公式LINE(1月19日現在、友だち登録者1万4880人)のLINE ROOMでもまちの出来事を紹介しています。

12/26 名寄自然体験交流会



交流自治体である東京都杉並区の小学生25人が本市を訪れました。天文台や北国博物館の見学し、対面式では市内の児童8人と交流、スノーシューや宝探しを一緒に体験しました。

本事業は、児童の探求心や豊かな人間性をはぐくむことが目的。

12/23-24 クロスカントリー名寄大会



なよろ健康の森で開催され、23日は中学生の部、24日は高校生および一般の部がそれぞれ行われました。選手たちは良いタイムを出そうと持てる力を振りしぼりながら臨んでいました。

本市からは矢野雅治選手(名寄中学校)が出場し、8位を記録。

1/7 名寄市二十歳を祝う会



エンレイホールで行われ、二十歳を迎えた149人が参加しました。二十歳を代表して三宅啄斗さんは「社会人の一員として自覚と責任持ち、精進したい」と誓いの言葉を宣言しました。

久々に再会した友人たちと記念撮影をする姿が見られました。

1/7 風連消防団出初式



名寄消防署風連出張所前で行われ、風連消防団に所属する団員54人が式に臨みました。式では消防車の機械器具点検と行進を行い、日頃から培っている消防力を披露しました。

長きに渡って勤続した消防団員の方々に表彰状が送られました。

1/11 新春子ども書き初め広場



市民文化センターで行われ、親子など幼児から一般の方まで35人が参加しました。高志書道会の会員が講師を務め、講師のアドバイスを参考に、力強い作品を書き上げていました。

参加者たちの作品は市民文化センターに展示されました。

1/8 「ゼロカーボン」を親子で学ぼう



『「ゼロカーボン」を親子で学ぼう』がテーマのソーラーランプ工作教室が駅前交流プラザ「よろーな」で行われ、親子20人が参加。ソーラーランプを親子で協力しながら組み立てました。

講師はパナソニック株式会社の竹内雅彦さんが務めました。